

主の来臨のために準備する

(3)

魂の命を失い、魂の救いを受ける

聖書：マタイ16:25、ルカ17:33、ヨハネ12:25、ヘブル10:39、Iペテロ1:9、啓12:11

I. 「自分の魂の命を救おうとする者はそれを失い、わたしのために自分の魂の命を失う者はそれを見いだす」——マタイ16:25：

- A. わたしたちの魂の命を失うことは、魂の享受を失うことを意味します。魂の命を救うことは、魂の享受を持ち、魂をその享受の中に保つことを意味します。
- B. 主イエスは地上に生きていたとき、彼の魂の命を失いました。すなわち、彼は自分の魂的な享受すべてを放棄しました。彼は、この時代における彼の魂の享受を失いました。それは彼が、来たるべき時代に彼の魂を得るためです。
- C. 自分自身を否むことは、魂の願望、好み、選択を拒絶することを意味します——16:24。
- D. わたしたちは一つの選択をする必要があります。すなわち、今日わたしたちの魂の命を失って、来たるべき時代にそれを得るか、それとも、今日わたしたちの魂の命を救って、来たるべき時代にそれを失うかです。
- E. わたしたちは来たるべき時代において、享受、すなわち、主の喜びを持つために、この時代においてわたしたちの魂の命を失うことによって、代価を払う必要があります——25:21, 23：
1. もしわたしたちがこの時代においてわたしたちの魂の命を救うなら、主イエスが再来する時に必ずそれを失うでしょう。
 2. 主のために、福音のために、彼の証しのために、わたしたちはこの時代において進んでわたしたちの魂の享受を失う必要があります——マルコ8:35-38、啓1:9。
- F. 召会のために、すべての聖徒のために、わたしたちは魂的な享受を失う必要があります——マタイ16:18、Iヨハネ3:16：
1. 魂の命を失うことがなければ、召会は建造され得ません。魂の命を失うことが、わたしたちが共に建造されることの基本的な要因です——マタイ16:18。
 2. わたしたちは兄弟たちのために、わたしたちの人の命を捨て去るべきです。わたしたちの内側の神聖な命(ゾーエ、zoe)は、他の人たちを愛することを切望し、彼らのために死ぬことをさえ切望します——Iヨハネ3:16。
- G. 「なぜなら、人の子は彼の父の栄光の中で、御使いたちと共に来るが、その時それぞれに、行ないにしたがって報いられるからである」——マタイ16:27：
1. 「なぜなら」が示していることは、主が再来する時、主に従う者たちへの主の褒賞は、彼らが自分の魂の命を失ったか、それとも彼らが自分の魂の命を救ったかにしたがってであるということです。

2. わたしたちが魂の命を失うことにも、魂の命を救うことにも、報いがあります
——啓22:12。

II. 「自分の魂の命を保とうとする者はそれを失い、失う者はそれを生かすであろう」

——ルカ17:33:

- A. わたしたちの魂の命を保つことは、地的で物質的な事柄にいつまでもとどまっていることと関係があります——31節。
- B. わたしたちが地的な事柄にいつまでもとどまっているのは、わたしたちがこの時代における魂の享受を顧みているからです:
 - 1. ロトの妻が塩の柱になったのは、彼女が未練がましくソドムを振り返って見たからです。これが示していることは、彼女は、神が裁き徹底的に滅ぼそうとしていた邪悪なこの世を、愛し、宝としていたということです——32節。
 - 2. この世的で地的な事柄にいつまでもとどまっていることは、わたしたちに魂を失わせます。すなわち、わたしたちの魂は来たるべき王国時代に、その享受を失います。

III. 「自分の魂の命を愛する者はそれを失い、この世で自分の魂の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至る」——ヨハネ12:25:

- A. 主は地に落ちた一粒の麦として、死を通して魂の命を失いました。それは彼が復活の中でご自身の永遠の命を解き放って、多くの麦粒に与えるためでした——24節。
- B. わたしたちも多くの麦粒として、死を通して魂の命を失わなければなりません。それはわたしたちが復活の中で永遠の命を享受するためです。
- C. 死を通して魂の命を失うことは、主イエスに従うことです。それはわたしたちが彼に仕え、この道、すなわち、魂の命を失い、彼の復活の中で生きる道において、彼と共に歩むためです——26節。

IV. 「わたしたちは、退いて崩壊に至る者ではなく、信仰を持って魂を獲得するに至る者です」——ヘブル10:39:

- A. わたしたちの魂を獲得すること、あるいは救うことは、わたしたちが救われ再生された後、主に従うことにおいて、どのようにわたしたちの魂を対処するかにかかっています。
- B. もし今わたしたちが主のために魂を失うなら、わたしたちは魂を救います。そして主の再来の時、わたしたちの魂は救われ、わたしたちは魂を獲得します——ルカ9:24. I ペテロ1:9。
- C. 魂を獲得することは、主に従う勝利者たちへの王国の褒賞です——ヘブル10:35. マタイ16:22-28。

V. 「それは、あなたがたの信仰の結果である魂の救いを受けているからです」——I ペテロ1:9:

- A. わたしたちの魂は苦難を通して救われ、主の出現、再来の時に、主の満ち満ちた享受へと至ります——7節. 3:17. 4:1, 12-16, 19。
- B. わたしたちはこの時代に、自分の魂、すなわち、わたしたちの魂の命を、そのすべ

での享樂と共に否まなければなりません。それはわたしたちが来たるべき時代に、主に対する享受の中で魂を得るためです——マタイ 10:37-39。

C. 主の出現の時、ある信者たちは主の喜びの中に入りますが、ある者たちは泣き叫んだり歯がみしたりする苦しみを受けます——25:21, 23. 24:45-46。

D. 主の喜びに入ることは、わたしたちの魂の救いです——25:21, 23。

VI. 「兄弟たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、彼に打ち勝った。

彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛さなかった」——啓12:11：

A. 人の墮落のゆえにサタンは、人の魂の命、すなわち、人の自己と結合しました——マタイ 16:23-24。

B. わたしたちはサタンに打ち勝つために、自分の魂の命を愛してはなりません。かえってそれを憎み、否まなければなりません——ルカ 14:26. 9:23。

C. わたしたちの魂の命を愛さないことが、サタンに打ち勝つ根拠です——啓12:11：

1. サタンはただ一種類の人を恐れます。すなわち、自分の魂の命を愛さない人です。
2. もしわたしたちがサタンに打ち勝とうとするなら、勝利の根拠は自己を愛さないことであることを認識しなければなりません。